

北海道石狩市でハイブリッド発電所（太陽光＋小形風力）が運転開始

AOIエネルギーソリューション株式会社（福井市二の宮4丁目44-1 代表取締役社長 山本章博 以下「当社」）は、北海道石狩市で、日本国内において初となる太陽光と小形風力のハイブリッド発電所を建設し、12月12日より商業運転を開始しました。

本発電所の出力規模は太陽光発電が98.4kWで小形風力発電が19.8kWです。太陽電池モジュールはトリナソーラー社製、小形風力発電システムはデンマークのSolid Wind Power社製です。年間予測発電量は約154,464kWhを計画しております。Co2削減量は年間72,565kg（スギの木5,182本分）となり、石油の削減効果に換算すると年間35,063ℓ（ドラム缶175本分）となります。発電した電気はFIT（固定価格買取制度）を利用して20年間全量売電する予定です。

太陽光発電は夜間や雨の日は発電しませんが、風力発電の場合は風があれば夜間でも雨の日でも発電します。また、季節要因でいえば、日射量の多い春～夏～秋といったシーズンは太陽光の発電量が増加しますが、風力発電は一般的に風が強いと言われる冬場に発電量が増加します。このように太陽光発電と風力発電がお互いにそれぞれの弱点を補いながら安定的に運転するのがハイブリッド発電所です。



【ハイブリッド発電所】北海道石狩市

本発電所の小形風力発電システム部分は本年3月に先行して商業運転を開始、太陽光発電システム部分の建設を本年10月より着工し、12月12日から商業運転を開始しました。

当社の再生可能エネルギーによる発電所は、本発電所が10ヶ所目となり合計のシステム容量は4,513kW（太陽電池モジュール容量）で年間予測発電量は5,114,194kWhを計画しています。当社は今後も地球温暖化対策に配慮し、SDGs（国連が定める持続可能な開発目標）にも呼応した再生可能エネルギーによる発電所の建設を進めてまいります。



■ 施設概要

サマ

施設名称：北海道石狩市生振ハイブリッド発電所
所在地：北海道石狩市生振103-2
発電事業者：AOIエネルギーソリューション株式会社
発電出力：118.2kW
太陽電池モジュール：トリナソーラー TSM-275PD05 TSM-270PD05
小形風力発電システム：Solid Wind Power SWP19.8-14TV20
年間発電量：154,464kWh（計画）
事業期間：2018年3月～2038年12月（20年間）

本件に関するお問い合わせ先

AOIホールディングス株式会社 TEL 0776-22-8100 FAX 0776-27-8338
担当 常務取締役 武田 一夫